

CES活動 現状確認表

作成年月日: 年 月 日

事業所名: ○○株式会社

1. 組織の概要とCESの適用範囲

活動期間				期間・年度	
年月日	から	年月日	まで	(平成 年度)	
CES適用事業所の所在地				事業内容	
環境に影響を及ぼす主要な設備や機器					
設備・機器名	容量	台数	設備・機器の仕様(特徴)	環境負荷の内容	
OA機器: パソコン					
OA機器: 複写機					
建物機器: エレベーター					
建物機器: トイレ・湯沸					
空調用機器: エアコン					
車両: 乗用車					
生産用機器:					

2. CES体制

役割	部署名・役職	氏名
CES責任・権限者である経営層		
CESの要求事項を指揮する人		
パフォーマンスを経営層に報告する人		

3. 環境に関する事業上の問題点・顧客等のニーズと期待

項目	リスク(脅威となるもの)	機会(チャンスとなるもの)	順守義務
環境に関する事業上の問題点			
顧客等のニーズと期待			

4. 基礎的事項

エネルギーや資源の使用量					
種類	単位	前々年度	前年度	年度ごとの比較	
				増減量	増減率
電気	kWh				
ガス	m ³				
水道	ℓ				
ガソリン	ℓ				
コピー用紙	枚(A4)				
パンフレット類(外注)	枚(A4)				
廃棄物排出量					
種類	単位	前々年度	前年度	年度ごとの比較	
				増減量	増減率
産業廃棄物 (マニフェスト発行分)	kg				
一般廃棄物(千代田区 清掃事務所に排出分)	※袋				
リサイクル・リユース量	kg				

※袋=千代田区指定ゴミ袋(50ℓ)

5. 順守する環境法令の取決め事項

法令などの名称	順守すべき内容	順守事項	確認内容	確認者
千代田区地球温暖化対策条例	千代田区における地球温暖化対策への取り組みについて、区、区民、事業者の責務を規定	CESの実施・認証		
安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例	千代田区における安全で快適な都市環境づくりを規定	・歩きタバコの禁止 ・公共の場所の清浄保持 ・ゴミの散乱防止		
騒音規制法	事業活動並びに建築工事に伴う騒音発生を規定	・特定施設設置届出 ・基準順守		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	廃棄物の処理について規定	・適正処理 ・合法的な収集運搬処理業者と契約 ・マニフェスト発行、回収確認 ・前年度排出量の届出		
消防法	火災予防及び危険物の取扱いについて規定	・防火管理者の選任		
毒物及び劇物取締法 (毒劇法)	毒物、劇物についての取扱いを規定	・登録、表示、管理 ・取扱責任者の設置、届出		
特定家庭用機器、再商品化推進法 (家電リサイクル法)	使用済み家電製品のリサイクル促進のための方針と責務を規定(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)	・リサイクル料金の支払いと適正処理		
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	使用済み小型家電製品のリサイクル促進のための方針と責務を規定	小型家電(パソコン含む)の合法業者、地方公共団体へのリサイクル料金を負担し適正処理		
資源の有効な利用の促進に関する法律 (パソコンリサイクル法)	資源の有効利用について責務を規定	パソコンメーカーへのリサイクル料金を負担し適正処理		
使用済み自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	使用済み自動車のリサイクルに関する責務を規定	自動車のリサイクル料金を負担し適正処理		
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロン類の大気排出抑制について規定	・業務用冷蔵庫、エアコンの点検義務 ・費用を負担して回収業者に引渡し		
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	事業者は、使用台数に関係なく運転者にアイドリング・ストップを励行するよう研修などを行う	アイドリング・ストップの周知と実行		

6. 有資格業務

資格者が必要な業務名	資格者氏名	資格取得後に必要な研修等	研修など受講実績

CES活動 現状確認表

作成年月日: 平成27年4月1日

事業所名: ○○株式会社

1. 組織の概要とCESの適用範囲

活動期間				期間・年度	
平成26年4月1日	から	平成27年3月31日	まで	(平成 27 年度)	
CES適用事業所の所在地				事業内容	
○○○○ ○○-○○				印刷業	
環境に影響を及ぼす主要な設備や機器					
設備・機器名	容量	台数	設備・機器の仕様(特徴)	環境負荷の内容	
OA機器: パソコン	50w	5台	特定メーカー品	電気	
OA機器: 複写機	500w	1台	省電力タイプ	電気	
建物機器: エレベータ		1基		電気	
建物機器: トイレ・湯沸				水・ガス	
空調用機器: エアコン	50kw	1基	業務用	電気・フロン	
車両: 乗用車	1500cc	3台	ハイブリッド車	ガソリン	
生産用機器: 印刷機・コンプレッサ	50kw		密閉型コンプレッサ	電気	

2. CES体制

役割	部署名・役職	氏名
CES責任・権限者である経営層	代表取締役社長	○○○○
CESの要求事項を指揮する人	CSR推進部 部長	○○○○
パフォーマンスを経営層に報告する人	CSR推進部 CES推進係	○○○○

3. 環境に関する事業上の問題点・顧客等のニーズと期待

項目	リスク(脅威となるもの)	機会(チャンスとなるもの)	順守義務
環境に関する事業上の問題点	近くに病院が新設されたため、騒音が問題となってきた。	—	○
顧客等のニーズと期待	—	CESを通して環境配慮をPRすることで、売上向上の効果がある。	×

4. 基礎的事項

エネルギーや資源の使用量					
種類	単位	前々年度 (平成26年度)	前年度 (平成27年度)	年度ごとの比較 増減量 増減率	
電気	kWh	156,511	155,898	-613	-0.4%
ガス	m ³	201	198	-3	-1.5%
水道	ℓ	6,000	5,500	-500	-8.3%
ガソリン	ℓ	721	712	-9	-1.2%
コピー用紙	枚(A4)	13,112	12,543	-569	-4.3%
パンフレット類(外注)	枚(A4)	22,000	22,900	900	4.1%
廃棄物排出量					
種類	単位	前々年度 (平成26年度)	前年度 (平成27年度)	年度ごとの比較 増減量 増減率	
産業廃棄物 (マニフェスト発行分)	kg	250	200	-50	-20.0%
一般廃棄物(千代田区 清掃事務所に排出分)	※袋	200	180	-20	-10.0%
リサイクル・リユース量	kg	100	120	20	20.0%

※袋 = 千代田区指定ゴミ袋(50ℓ)

5. 順守する環境法令の取決め事項

法令などの名称	順守すべき内容	順守事項	確認内容	確認者
千代田区地球温暖化対策条例	千代田区における地球温暖化対策への取り組みについて、区、区民、事業者の責務を規定	CESの実施・認証	平成26年10月 認証	〇〇
安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例	千代田区における安全で快適な都市環境づくりを規定	・歩きタバコの禁止 ・公共の場所の清浄保持 ・ゴミの散乱防止	平成27年2月 周辺美化 確認	〇〇
騒音規制法	事業活動並びに建築工事に伴う騒音発生を規定	・特定施設設置届出 ・基準順守	平成27年2月 確認	〇〇
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	廃棄物の処理について規定	・適正処理 ・合法的な収集運搬処理業者と契約 ・マニフェスト発行、回収確認 ・前年度排出量の届出	平成27年2月 マニフェスト 届出確認	〇〇
消防法	火災予防及び危険物の取扱いについて規定	・防火管理者の選任	平成27年2月 届出確認	〇〇
毒物及び劇物取締法 (毒劇法)	毒物、劇物についての取扱いを規定	・登録、表示、管理 ・取扱責任者の設置、届出	平成27年2月 届出確認	〇〇
特定家庭用機器、再商品化推進法 (家電リサイクル法)	使用済み家電製品のリサイクル促進のための方針と責務を規定(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)	・リサイクル料金の支払いと適正処理	廃棄なし	〇〇
使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	使用済み小型家電製品のリサイクル促進のための方針と責務を規定	小型家電(パソコン含む)の合法業者、地方公共団体へのリサイクル料金を負担し適正処理	〃	〇〇
資源の有効な利用の促進に関する法律 (パソコンリサイクル法)	資源の有効利用について責務を規定	パソコンメーカーへのリサイクル料金を負担し適正処理	〃	〇〇
使用済み自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	使用済み自動車のリサイクルに関する責務を規定	自動車のリサイクル料金を負担し適正処理	〃	〇〇
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロン類の大气排出抑制について規定	・業務用冷蔵庫、エアコンの点検義務 ・費用を負担して回収業者に引渡し	平成27年2月 定期点検 確認	〇〇
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	事業者は、使用台数に関係なく運転者にアイドリング・ストップを励行するよう研修などを行う	アイドリング・ストップの周知と実行	平成27年2月 掲示板・インタビュー 確認	〇〇

6. 有資格業務

資格者が必要な業務名	資格者氏名	資格取得後に必要な研修等	研修など受講実績
消防法	防火管理者	〇〇 〇〇	講習会の受講
フロン排出抑制法	指定管理者	△△ △△	なし
			平成26年10月受講 平成27年度施行準備

CES活動 事業活動調査表

様式3-2

作成日:平成 年 月 日

作成者:

業務の内容	環境側面			頻度	環境影響	順守する環境法規制	リスク(脅威となるもの)	機会(チャンスとなるもの)	※※環境影響の重要度			目標として取組むテーマの選定
	項目	前年使用量	今年使用量						高い	中程度	低い	
事務所内の業務 設備の利用 紙の使用 営業業務 商品の販売 商品の梱包・配送 産業廃棄物の発生	電気(kw)											
	ガス(m³)											
	水道(l)											
	ガソリン(l)											
	紙(コピー用紙、印刷物)											
	環境商品・サービスの提供(千円)											
	事業系産業廃棄物(kg)											
	地震・火災の発生											
地域社会とかかわる活動	環境に関する事業上の問題点											
	顧客等のニーズと期待											

これらの取組みは技術上の選択肢、財務上、運用上及び事業上の状況を考慮して選択しております。

※環境影響の重要度は評価基準により評価した

評価基準

環境影響の重要度	影響度の判断基準	目標として取組むテーマの選定
高い	環境への負荷が大きい。または、環境に対して有益である場合。環境保全または環境法規制等に該当する場合も「高い」とする。	目標候補とする、または、他のマネジメントと統合して管理する
中程度	環境への負荷は、大きくないが小さいとも言えない場合	現状を維持し、数量を監視する
低い	環境への負荷は小さい場合	目標としないが、監視を行う
	緊急の場合	定期的な訓練で緊急時に備える

CES活動 事業活動調査表

作成日:平成 27 年 4 月 1 日

作成者: ○○ ○○

業務の内容	環境側面			頻度	環境影響	順守する環境法規制	リスク(脅威となるもの)	機会(チャンスとなるもの)	※環境影響の重要度			目標として取組むテーマの選定
	項目	前年使用量	今年使用量						高い	中程度	低い	
事務所内の業務 設備の利用 紙の使用 営業業務 商品の販売 商品の梱包・配送 産業廃棄物の発生	電気(kw)	現状確認表参照	現状確認表参照	通常	CO2の排出 天然資源の使用		○		✓			○ 目標候補とする
	ガス(m³)	〃	〃	通常	CO2の排出 天然資源の使用		○				✓	× 目標としないが、監視を行う
	水道(ℓ)	〃	〃	通常	天然資源の使用		○				✓	× 目標としないが、監視を行う
	ガソリン(ℓ)	〃	〃	通常	CO2の排出 天然資源の使用	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○				✓	× 目標としないが、監視を行う
	紙(コピー用紙、印刷物)	〃	〃	通常	天然資源の使用		○			✓		△ 現状を維持し、数量を監視する
	環境商品・サービスの提供(千円)	28,958	31,958	通常	資源の有効活用			○	✓			◎ 他のマネジメントと統合して管理する
	事業系産業廃棄物(kg)	現状確認表参照	現状確認表参照	通常	資源の枯渇 生活環境の汚染	廃掃法	○			✓		△ 現状を維持し、数量を監視する
	地震・火災の発生	なし	なし	緊急	大気汚染 水質汚染 人命損失	消防法	○			✓		一 定期的な訓練で緊急時に備える
地域社会とかかわる活動	環境に関する事業上の問題点	未参加	未参加	通常	近くに病院が新設されたため、騒音が問題となってきた。	騒音規制法	○		✓			○ 目標候補とする
	顧客等のニーズと期待	未参加	未参加	通常	CESを通して環境配慮をPRすることで、売上向上の効果がある。			○		✓		△ 現状を維持し、数量を監視する

これらの取組みは技術上の選択肢、財務上、運用上及び事業上の状況を考慮して選択しております。

※環境影響の重要度は評価基準により評価した

通常 日常発生する活動
 非通常 日常的ではない活動
 緊急 緊急に発生する活動

◎ 他のマネジメントと統合して管理する
 ○ 目標候補とする
 △ 現状を維持し、数量を監視する
 × 目標としないが、監視を行う
 一 定期的な訓練で緊急時に備える

CES活動 計画表/実績表

作成日:平成 年 月 日

作成者 :〇〇 〇〇

目標事項及び目標値	達成方法/担当者名	月次実績 チェック結果	スケジュール														小計	合計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1	実行チェック者 〇〇 〇〇	前年実績								0							0	0	
		昨年度実績値 % (目標)								0								0	0
		本年度実績値								0								0	0
		累積増減%								#DIV/0!								#DIV/0!	#DIV/0!
		評価(○×)								#DIV/0!								#DIV/0!	#DIV/0!
<上半期のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇)		<年度のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇)							<次年度への反映> (記入者:〇〇 〇〇)										
2		前年実績								0							0	0	
		昨年度実績値+10%(目標)								0								0	0
		本年度実績値								0								0	0
		累積増減%								#DIV/0!								#DIV/0!	#DIV/0!
		評価(○×)								#DIV/0!								#DIV/0!	#DIV/0!
<上半期のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇)		<年度のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇)							<次年度への反映> (記入者:〇〇 〇〇)										
3		前年実績								0							0	0	
		昨年度実績値 (目標)								0								0	0
		本年度実績値								0								0	0
		累積増減%								#DIV/0!								#DIV/0!	#DIV/0!
		評価(○×)								#DIV/0!								#DIV/0!	#DIV/0!
<上半期のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇)		<年度のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇)							<次年度への反映> (記入者:〇〇 〇〇)										

現状維持項目

数値監視項目 (現状維持項目)	達成方法/担当者名	月次実績 チェック結果	スケジュール														小計	合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1		昨年度実績値								0							0	0
		本年度実績値								0							0	0
		累積増減%								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
		同月比(○×)								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
2		昨年度実績値								0							0	0
		本年度実績値								0							0	0
		累積増減%								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
		同月比(○×)								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
3		昨年度実績値								0							0	0
		本年度実績値								0							0	0
		累積増減%								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
		同月比(○×)								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
4-1		昨年度実績値								0							0	0
		本年度実績値								0							0	0
		累積増減%								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
		同月比(○×)								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
4-2		昨年度実績値								0							0	0
		本年度実績値								0							0	0
		累積増減%								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!
		同月比(○×)								#DIV/0!							#DIV/0!	#DIV/0!

CES活動 計画表/実績表

作成日:平成 27 年 4 月 1 日

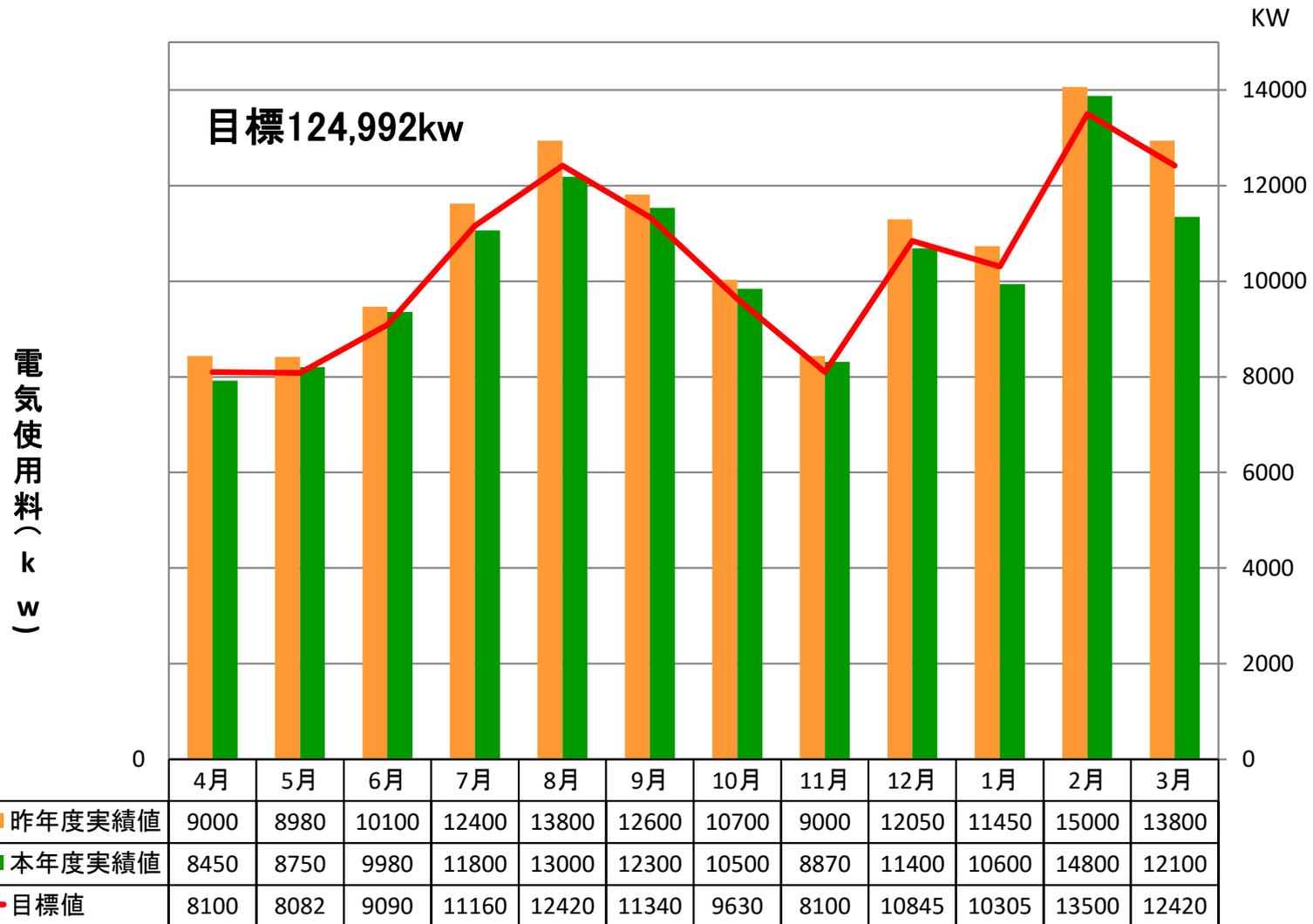
作成者 :〇〇 〇〇

	目標事項及び目標値	達成方法/担当者名	スケジュール																
			月次実績 チェック結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
1	電気使用量の削減 ・電気の使用量を昨年度比、累積値で10%削減する 目標 124,992kw	灯 ・パソコン OA機器は帰社時電源を切る ・使用しない部屋のエアコンの電源を切る ・コピー機は不使用時節約モードに切替える 実行チェック者 〇〇 〇	前年実績	9,000	8,980	10,100	12,400	13,800	12,600	66,880	10,700	9,000	12,050	11,450	15,000	13,800	72,000	138,880	
			昨年度実績値▲10%(目標)	8,100	8,082	9,090	11,160	12,420	11,340	60,192	9,630	8,100	10,845	10,305	13,500	12,420	64,800	124,992	
			本年度実績値	8,450	8,750	9,980	11,800	13,000	12,300	64,280	10,500	8,870	11,400	10,600	14,800	12,100	68,270	132,550	
			累積増減%	4.3%	8.3%	9.8%	5.7%	4.7%	8.5%	6.8%	9.0%	9.5%	5.1%	2.9%	9.6%	-2.6%	5.4%	6.0%	
			評価(○×)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
<上半期のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇) 夏場にクーラー節電の効果があり削減ができた。後期も引き続き、実行チェックリストで毎月削減の行動を管理して目標達成に向けて活動する			<年度のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇) 年度目標124,992に対し、132,550で未達成。下期に想定したより寒さが強く、エアコン使用量が増えたのが原因である。					<次年度への反映> (記入者:〇〇 〇〇) 次年度も目標とし、以下の取り組みを実施する。 ・会議室 食堂 更衣室 トイレは使用后に消灯 ・パソコン OA機器は帰社時電源を切る ・使用しない部屋のエアコンの電源を切る ・コピー機は不使用時節約モードに切替える											
2	環境商品・サービスの提供 (千円) 目標 32,527千円	・各部に環境商品の売上目標を設定 ・新商品は素材、運搬、廃棄後のライルサイクルの評価基準で取り入れる 実行チェック者 各部門長	前年実績	2,100	2,430	2,000	2,580	2,300	2,120	13,530	2,890	2,560	2,280	3,000	2,810	2,500	16,040	29,570	
			昨年度実績値+10%(目標)	2,310	2,673	2,200	2,838	2,530	2,332	14,883	3,179	2,816	2,508	3,300	3,091	2,750	17,644	32,527	
			本年度実績値	2,200	2,100	2,880	2,600	2,600	2,980	15,360	2,600	2,200	3,100	3,000	2,980	3,000	3,000	16,880	32,240
			累積増減%	-4.8%	-21.4%	30.9%	-8.4%	2.8%	27.8%	3.2%	-18.2%	-21.9%	23.6%	-9.1%	-3.6%	9.1%	-4.3%	-0.9%	
			評価(○×)	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	
<上半期のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇) 前年より売上がUPLしました。原因は商品選択で廃棄後に分別リサイクルの表示と容易な分解図がユーザーにアピールしたことです。後期は更に商品のアピール手段を広げ、目標達成に努めます。			<年度のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇) 前期に比べ後期が延びる傾向にありますが、インターネット掲載を始めたにも拘らず対前前期比では伸び悩みました。原因はインターネット掲載のみにアピールを頼り、紙媒体でのセットをしなかったことです。					<次年度への反映> (記入者:〇〇 〇〇) ライフサイクルを考慮した商品のシリーズ化、新規商品の開発を課題にすること。広告にインターネット、紙媒体、ポスターなどセットで行うこと。分別廃棄のためのサンプル写真を追加すること。											
3	CES推進協議会の企画に参加を一般教育とする 目標 年間 5回	・環境教育として取り入れ、全員が参加する ・環境に関する認識を高める ・CES会員登録に補助金を支給する 実行チェック者 〇〇 〇	前年実績	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	3	4	
			昨年度実績値(目標)	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	3	4	
			本年度実績値	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	3	
			累積増減%	-	-	-	-	-	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	-33.3%	-25.0%	
			評価(○×)	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	×	×	
<上半期のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇) 4月に新入社員と若年社員の参加を行いました。教育訓練の効果は節電、環境商品の販売など上っております。			<年度のまとめ> (記入者:〇〇 〇〇) 前期の効果からベテラン社員へ参加を勧め全員が1回以上参加しました。ベテラン社員の意見は業務に関連するレベルの高い企画に参加したいとあり、次年度の環境専門団体の講習会に申し込みました。CES会員の参加者は2名。予想に反して伸び悩んだことは社内通知の不徹底が原因です。					<次年度への反映> (記入者:〇〇 〇〇) CES会員登録補助は社内掲示の他に登録者の掲示と社内登録証を作成して社員に公告する。											

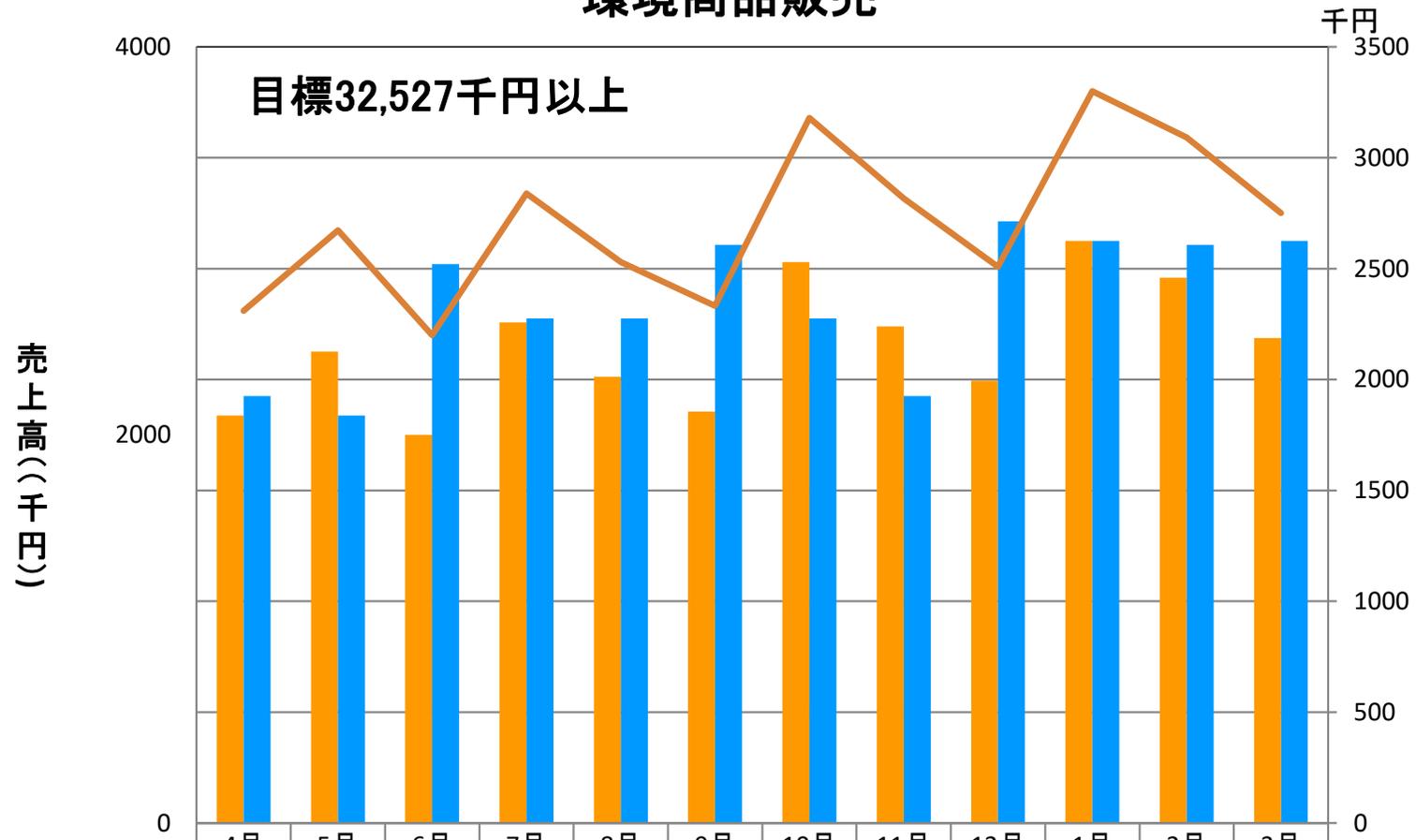
現状維持項目

数値監視項目 (現状維持項目)	達成方法/担当者名	月次実績 チェック結果	スケジュール															
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
1 ガス使用量の削減 ・現状を維持し、数量を監視する	・冬季以外は給湯器を使わない ・温度設定を低めに設定する ○ 実行チェック者 ○ ○ ○	昨年度実績値	16	18	19	18	19	18	108	17	14	15	14	15	15	90	198	
		本年度実績値	18	17	20	17	16	15	103	16	16	14	13	16	14	89	192	
		累積増減%	12.5%	-5.6%	5.3%	-5.6%	-15.8%	-16.7%	-4.6%	-5.9%	14.3%	-6.7%	-7.1%	6.7%	-6.7%	-1.1%	-3.0%	
		同月比(○×)	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	
2 水道使用量の削減 ・現状を維持し、数量を監視する	・水を使用する製品は節水型を購入する ・トイレの二度流しはしない ・洗車の回数を減らす ○ 実行チェック者 ○ ○ ○	昨年度実績値		880		970		1,030	2,880		910		860		850	2,620	5,500	
		本年度実績値		870		1,000		1,020	2,890		920		840		855	2,615	5,505	
		累積増減%		-1.1%		3.1%		-1.0%	0.3%		1.1%		-2.3%		0.6%	-0.2%	0.1%	
		同月比(○×)		○		×		○	×		×		○		×	○	×	
3 ガソリン使用量の削減 ・現状を維持し、数量を監視する	・アイドリングストップの励行 ・経済速度で運転する ・タイヤの空気圧を適正にする ○ 実行チェック者 ○ ○ ○	昨年度実績値	60	55	60	56	47	66	344	56	55	68	52	65	72	368	712	
		本年度実績値	61	55	56	53	50	64	339	58	56	67	51	64	73	369	708	
		累積増減%	1.7%	0.0%	-6.7%	-5.4%	6.4%	-3.0%	-1.5%	3.6%	1.8%	-1.5%	-1.9%	-1.5%	1.4%	0.3%	-0.6%	
		同月比(○×)	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	
4-1 紙(コピー用紙) ・現状を維持し、数量を監視する	・両面コピーの励行 ・コピー枚数の考慮(予備枚数はコピーしない) ・電子メール、電子ファイルを多用すること ○ 実行チェック者 ○ ○ ○	昨年度実績値	1,256	894	980	1,120	830	1,280	6,360	945	995	1,450	870	895	1,028	6,183	12,543	
		本年度実績値	1,100	1,003	990	1,100	840	1,250	6,283	893	940	1,100	900	853	1,020	5,706	11,989	
		累積増減%	-12.4%	12.2%	1.0%	-1.8%	1.2%	-2.3%	-1.2%	-5.5%	-5.5%	-24.1%	3.4%	-4.7%	-0.8%	-7.7%	-4.4%	
		同月比(○×)	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
4-2 紙(印刷物) ・現状を維持し、数量を監視する	・HPとの併用で、印刷物はHPへの案内を主にしてページを減らす ・ページ物は紙厚を減量する ・最低限の印刷部数しか発注しない ○ 実行チェック者 ○ ○ ○	昨年度実績値	2,500	1,200	1,000	1,800	1,700	2,800	11,000	1,500	1,600	1,800	1,400	1,600	4,000	11,900	22,900	
		本年度実績値	2,600	2,500	700	1,500	1,000	3,500	11,800	1,000	1,100	2,000	1,000	1,000	5,500	11,600	23,400	
		累積増減%	4.0%	108.3%	-30.0%	-16.7%	-41.2%	25.0%	7.3%	-33.3%	-31.3%	11.1%	-28.6%	-37.5%	37.5%	-2.5%	2.2%	
		同月比(○×)	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	

電気使用量



環境商品販売



■ 昨年度実績値	2100	2430	2000	2580	2300	2120	2890	2560	2280	3000	2810	2500
■ 本年度実績値	2200	2100	2880	2600	2600	2980	2600	2200	3100	3000	2980	3000
— 目標値	2310	2673	2200	2838	2530	2332	3179	2816	2508	3300	3091	2750

CES活動 実行チェックシート
組織名 部

様式3-4

チェック者名

平成 年 月 ~ 平成 年 月

1. 評価基準は、「実行できた:2 ときどき実行できた:1 実行できなかった:0」とする。
2. 該当しない項目は「-」を記入する。
3. 実行の内容は、資料2「CES活動における行動の具体例」を参考にして設定する。
4. 全ての結果はCES活動 計画表/実績表(様式3-3)の評価の参考データに用います。

取組項目	実行内容											合計値	平均値		
省エネルギー	電気	1	パソコン OA機器等は長時間使用しない時は、電源を切っている。												
		2	使用しない機器は、コンセントを抜いている。												
		3	コピー機やプリンターは、不使用時は節約モードに切替えている。												
		4	使用していない場所(工場等)は、消灯している。												
		5	残業時には、照明を最小限にしている。												
		6	会議室、食堂、更衣室、トイレは使用後に消灯している。												
省エネルギー	ガソリン	1	エコドライブを心がけるようにしている。												
省エネルギー	ガス	1	湯沸し器の口火は小まめに消している。												
		2													
省資源	水	1	水道は小まめに水栓を閉めている。												
		2	トイレでは、何回も水を流さないようにしている。												
	紙	1	裏面利用に心がけている。												
		2	書類は配布せず回覧するようにしている。												
		3	文書の電子データ化に努めている。												
		4													
		5													
	ごみ等	1	ゴミの分別基準を守っている。												
		2	ゴミになるような物を持ち込まないようにしている。												
		3	事務用品の共用利用に努めている。												
伝業者	1	CES要求事項(環境方針)の伝達													
関心事	1	公共空地で目についたごみを拾うようにしている。													
	2	買物時にマイバックを利用するようにしている。													
	3	クールビズ、ウォームビズを実行している。													
総合計															

CES活動 実行チェックシート

様式3-4

組織名

〇〇部

チェック者名

〇〇部長

平成 27年 4月 ~ 平成 28年 3月

1. 評価基準は、「実行できた:2 ときどき実行できた:1 実行できなかった:0」とする。
2. 該当しない項目は「-」を記入する。
3. 実行の内容は、資料2「CES活動における行動の具体例」を参考にして設定する。
4. 全ての結果はCES活動 計画表/実績表(様式3-3)の評価の参考データに用います。

取組 項目	実行内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 値	平均 値	
		月 3 0 日	月 3 1 日	月 3 0 日	月 3 1 日	月 3 1 日	月 3 0 日	月 3 1 日	月 3 1 日	月 3 0 日	月 2 2 8 日	月 3 1 日	月 2 2 9 日			月 3 3 1 日
省 エ ネ ル ギ ー	電気	1 パソコン OA機器等は長時間使用しない時は、電源を切っている。	2	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	2	18	1.5
		2 使用しない機器は、コンセントを抜いている。	1	1	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	20	1.7
		3 コピー機やプリンターは、不使用時は節約モードに切替えている。	2	1	1	2	2	1	2	1	1	2	2	1	18	1.5
		4 使用していない場所(工場等)は、消灯している。	1	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	2	18	1.5
		5 残業時には、照明を最小限にしている。	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	22	1.8
		6 会議室、食堂、更衣室、トイレは使用後に消灯している。	2	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	1	17	1.4
														1.6		
ガ ソ リ ン	1 エコドライブを心がけるようにしている。	2	2	1	2	2	1	2	1	2	2	1	1	19	1.6	
															1.6	
ガ ス	1 湯沸し器の口火は小まめに消している。	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	2	1	18	1.5	
	2														1.5	
省 資 源	水	1 水道は小まめに水栓を閉めている。	1	1	2	2	2	1	1	2	1	2	1	1	17	1.4
		2 トイレでは、何回も水を流さないようにしている。	1	1	1	2	2	2	2	1	2	1	2	2	19	1.6
															1.5	
	紙	1 裏面利用に心がけている。	1	1	2	2	2	1	2	1	1	2	2	1	18	1.5
		2 書類は配布せず回覧するようにしている。	2	2	1	2	2	2	2	1	2	1	2	2	21	1.8
		3 文書の電子データ化に努めている。	1	1	2	2	2	1	1	2	1	2	1	2	18	1.5
4																
5																
														1.6		
ご み 等	1 ゴミの分別基準を守っている。	2	1	1	2	2	1	2	1	2	1	2	1	18	1.5	
	2 ゴミになるような物を持ち込まないようにしている。	2	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	2	19	1.6	
	3 事務用品の共用利用に努めている。	2	1	1	2	2	1	2	1	2	1	2	2	19	1.6	
														1.6		
伝 達 者	1 CES要求事項(環境方針)の伝達	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4	2.0	
															2.0	
関 心 事	1 公共空地で目についたごみを拾うようにしている。	2	1	1	2	2	2	1	1	2	2	2	2	20	1.7	
	2 買物時にマイバックを利用するようにしている。	2	1	1	2	2	1	2	2	1	1	2	1	18	1.5	
	3 クールビズ、ウォームビズを実行している。	2	1	1	2	2	2	1	2	1	2	2	2	20	1.7	
														1.6		
総 合 計		32	22	24	38	38	28	30	27	28	33	31	30			

情報記録書

平成 年 月～平成 年 月

	月/日	内 容 内部情報は細字、外部情報は太字	対 応 対応者が末尾にサインする
1		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
2		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
3		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
4		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
5		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
6		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
7		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
8		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
9		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)
10		(申入れ者:)(受付:)	(/ 対応者)

情報記録書

平成27年4月～平成28年3月

月/日	内容 内部情報は細字、外部情報は太字	対応 対応者が末尾にサインする
1 4/1	当社の暖房は、給湯式なので、ボイラーを早めに止めても余熱で暖房効果があるのではないか。 (申入れ者:〇〇)(受付:〇〇〇〇)	今後は、30分繰り上げて16時30分にボイラーを停止することとした。 (12/5 対応者 〇〇)
2 7/20	総務部で大型冷蔵庫1台を購入するので、旧品廃棄の相談を受けた (申入れ者:〇〇)(受付:〇〇〇〇)	家電リサイクル法に定める資格を持つ販売店からの購入とリサイクルを委託し、リサイクル料金の支払い、領収書の保管を指示した。 (12/5 対応者 〇〇)
3 8/23	使用済み封筒の再利用の提案があった。 (申入れ者:〇〇)(受付:〇〇〇〇)	使用済みの封筒を社内連絡や資料整理等に利用するように、朝の連絡会で周知した。 (12/5 対応者 〇〇)
4 11/30	東側隣家から破棄するダンボールが、風で周辺に飛散していて困るとの苦情があった。 (申入れ者:隣のAさん)(受付:〇〇〇〇)	飛散ないように保管場所を定め、リサイクルに出すまで社内倉庫で管理するとした。隣家には1/20に報告した。 (1/18対応者 〇〇) (2/1効果確認 〇〇〇〇)
5 2/2	CES推進協議会より、表彰の連絡があった (申入れ者:CES推進協議会)(受付:〇〇)	表彰式は社長が参加することを伝えた。社内は電子メールで速報した。 (対応者:〇〇)
6	[Redacted]	

議事録
日

平成27年6月10

作成者:

〇〇

〇〇について

受付メモ

平成28年1月3日

申入れ者 △△

...

受付者 〇〇

CES活動 問題解決報告書

作成日:平成 年 月 日() 作成者:

問題内容	1. 発生日時 平成 年 月 日()
	2. 事態の区分 <input type="checkbox"/> 緊急事態 <input type="checkbox"/> その他()
	3. 問題の内容(あるがままの状況を明確すること)
原因	
問題解決策	(1)対応処置、環境影響の緩和処置 実施日: 月 日 実施者:
	(2)再発防止(原因への対応策) 実施日: 月 日 実施者:
有効性の確認	実施日: 月 日 実施者:

CES活動 問題解決報告書

作成日:平成 27 年 6 月 30 日(火) 作成者:〇〇 〇〇

問題内容	1. 発生日時 平成 27 年 6 月 3 日(水)
	2. 事態の区分 □緊急事態 ■その他(維持項目数値の増加)
	3. 問題の内容(あるがままの状況を明確すること) 現状維持項目のガソリン使用量の削減で4月、5月とも前年を上回り、維持された状態になっていない。
原因	社員、新入社員へ次の達成方法が周知されていない
	1)経済速度で運転する(エコドライブを心がける)
	2)アイドリングストップの励行 3)タイヤの空気圧を適正にする
問題解決策	(1)対応処置、環境影響の緩和処置 実施日:6月10日 実施者:〇〇 〇〇 教育訓練を6月10日に実施。特に新入社員を含め達成手段の周知を徹底した。
	(2)再発防止(原因への対応策) 実施日:6月13日 実施者:〇〇 〇〇 維持項目の達成手段実行の実績をチェックシート、計画表・実績表で掲示した。 一般教育の教育訓練に毎回、達成手段を入れることとする
有効性の確認	実施日:6月30日 実施者:代表取締役社長 〇〇 〇〇 計画表・実績表で効果確認

CES活動 問題解決報告書

作成日:平成 28 年 3 月 14 日(金) 作成者:〇〇 〇〇

問題内容	1. 発生日時 平成 28 年 3 月 11 日(金)
	2. 事態の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急事態 <input type="checkbox"/> その他()
	3. 問題の内容(あるがままの状況を明確すること)
	3月11日(金)14時15分に千代田区で震度3の地震があり、マニュアル通り避難を呼びかけた。 現場見回りで資材庫、薬品庫、器材、オフィスは耐震対応がされ、被害は皆無であった。 しかし、体感で緊急事態の感覚がなく、職場でも被害が無く、数人しか避難しなかった。 職場からは避難の必要を感じない程度の災害について、一律にマニュアル適用されているは、日常業務に支障が出ると申し入れがあった
原因	1. 当社の耐震対策は震度3程度で被害が発生しないことが確認された。 しかしながら、緊急事態対応手順書に従う避難が行われなかったことは緊急事態対応手順書に地震発生で対応とされている。被害想定に基づいた震度別の対応が明記されておらず、発生した緊急事態とかい離している。
問題解決策	(1)対応処置、環境影響の緩和処置 実施日:3月11日 実施者:〇〇 〇〇 現場見回りで被害発生がなく、修正、緩和処置なし
	(2)再発防止(原因への対応策) 実施日:3月14日 実施者:〇〇 〇〇 緊急事態対応手順書の地震発生で対応基準を次のように見直す。 地震発生時の対応を、当社の耐震性から震度5以上で緊急事態対応手順書で実施とし、震度5未満は事務所持機とする。
有効性の確認	実施日:3月14日 実施者:代表取締役社長 〇〇 〇〇 緊急事態対応手順書の改定を確認する。

教育訓練報告書

作成日:平成 年 月 日 () 作成者:

教育訓練の目的	新人教育、一般教育（緊急事態対応訓練含む）、有資格者研修、その他（ ）		
教育訓練の名称			
実施年月日・時間	平成 年 月 日 : ~ :		
実施場所			
教育訓練の内容			
講師等の氏名		使用教材	
受講者氏名 (氏名を必ず記入)			
教育訓練の有効性評価 (意識がどのように変わったかを具体的に記入)			
有効性評価者		評価日	平成 年 月 日
1) 教育内容への要望 2) 教材の改良点 3) 手順の見直し			

教育訓練報告書

作成日:平成27年 6月10日 (水) 作成者:〇〇 〇〇

教育訓練の目的	新人教育、一般教育（緊急事態対応訓練含む）、有資格者研修、その他（ ）		
教育訓練の名称	環境目標の達成		
実施年月日・時間	平成 27 年 6 月 10 日 17:30 ~ 18:30		
実施場所	本社:会議室		
教育訓練の内容	昨年度の環境目標の達成状況の確認と今年度の目標達成に向けた教育。 維持管理項目のガソリンの使用量削減の達成方法を周知する。		
講師等の氏名	〇〇 〇〇部長	使用教材	CESマニュアル、目標計画表/実績表、実行チェックシート
受講者氏名 (氏名を必ず記入)	AA AA	AF BC	
	AB XY	AG BC (新入社員)	
	AC BC	AH BC (派遣社員)	
	AD DC	AJ BC (新規パート)	
	AE BC	以上 全員参加	
教育訓練の有効性評価 (意識がどのように変わったかを具体的に記入)	ベテラン社員、派遣社員、新入社員、新規パートの受講者へのインタビューで目標達成の手段と、目標が達せられない場合の環境影響への認識が確認できた。 維持管理項目の達成方法の周知が出来た。		
有効性評価者	代表取締役社長 〇〇 〇〇	評価日	平成 27 年 6 月 30 日
1) 教育内容への要望 2) 教材の改良点 3) 手順の見直し	1) ベテラン社員、派遣社員から初歩的な教育ではなく、専門的な外部研修機関の受講希望があり、一般教育と新入社員教育は分離してほしいとの要望があった。 2) 新入社員向けとして改良点なし 3) 目標達成に向けた手順の見直しなし		

教育訓練報告書

作成日:平成27年 9月 1日(火) 作成者:〇〇 〇〇

教育訓練の目的	新人教育、 <u>一般教育</u> （緊急事態対応訓練含む）、有資格者研修、その他（ ）		
教育訓練の名称	緊急事態対応訓練		
実施年月日・時間	平成 27 年 9 月 1 日 11:30 ~ 12:00		
実施場所	本社		
教育訓練の内容	社内の火災を想定して、消火・通報・避難・負傷者対応訓練を行う。 手順は防災計画に従って実施する。		
講師等の氏名	〇〇 〇〇防火管理者	使用教材	防災計画書
受講者氏名 (氏名を必ず記入)	AA AA	AF BC	
	AB XY	AG BC	
	AC BC	AH BC (派遣社員)	
	AD DC	AJ BC (パート)	
	AE BC	以上 全員参加	
教育訓練の有効性評価 (意識がどのように変わったかを具体的に記入)	火災発生の危険と環境汚染を認識し、火の元を確認することの重要性が啓発された。 全員の避難時間は5分、消火器の使い方訓練、身障者への避難介助訓練は有用であった。		
有効性評価者	代表取締役社長 〇〇 〇〇	評価日	平成 27 年 9 月 2 日
1) 教育内容への要望 2) 教材の改良点 3) 手順の見直し	1) 問題なし 2) 消火栓の使い方を追加する 3) 手順の防災計画書の変更なし、ただし、連絡先の電話番号、本社住所を常時掲示すること 身体障害者への避難介助の人数を2名とすること。配属を低層階に変更すること		

作成年月日: _____ 年 月 日

事業所名: _____

添付書類

- 様式3-1_現状確認表 (期末作成)
- 様式3-2_事業活動調査票
- 様式3-3_計画表・実績表
- 様式3-4_実行チェックシート
- 様式3-5_情報記録書および議事録、メモ等
- 様式3-6_問題解決報告書
- 様式3-7_教育訓練報告書
- CES監査報告書(外部資料)
- その他

a) 年間活動のまとめ

1. 前回までの経営層の見直し(マネジメントレビュー)に対する処置
2. CES監査による指摘事項に関する処置
不適合 件 改善指示事項 件 観察事項 件
3. 事業活動調査表の変化
4. 法令の変更
5. 次年度の活動に向けての提案

b) 経営層の見直し(マネジメントレビュー) _____ 経営層

- 1) CESの運用が有効であるか否かのコメント
- 2) 継続的改善に向けた行動の指示
- 3) CES(資源を含む)の変更の必要性に関する決定
- 4) 環境目標が達成されていない場合の処置
- 5) 他の事業プロセスへのCESの統合を改善するための機会
- 6) 組織の戦略的な方向に関する指摘

作成年月日: 平成28年4月1日

事業所名: ○○株式会社

添付書類

- 様式3-1_現状確認表 (期末作成)
- 様式3-2_事業活動調査票
- 様式3-3_計画表・実績表
- 様式3-4_実行チェックシート
- 様式3-5_情報記録書および議事録、メモ等
- 様式3-6_問題解決報告書
- 様式3-7_教育訓練報告書
- CES監査報告書(外部資料)
- その他:

a) 年間活動のまとめ

1. 前回までの経営層の見直し(マネジメントレビュー)に対する処置
CES継続の指示で見直し事項なし
2. CES監査による指摘事項に関する処置
不適合 0件 改善指示事項 1件 観察事項 2件
3. 事業活動調査表の変化
変化なし
4. 法令の変更
法令変更なし
5. 次年度の活動に向けた提案
環境商品の廃棄時のリサイクルを利害関係者を詳細に説明する案内をWEB上に掲載したい。また、当社の環境商品選定基準である素材から廃棄までのライフサイクル視点をカタログに掲載したい

b) 経営層の見直し(マネジメントレビュー) 経営層代表取締役社長 ○○ ○○

- 1) CESの運用が有効であるか否かのコメント
運用は有効で効果的であり継続する
- 2) 継続的改善に向けた行動の指示
CES目標の達成、順守を継続すること
- 3) CES(資源を含む)の変更の必要性に関する決定
現状通りとする
- 4) 環境目標が達成されていない場合の処置
環境目標は全て達成
- 5) 他の事業プロセスへのCESの統合を改善するための機会
環境商品の販売は引き続き統合して実施する。
活動報告書「5. 次年度の活動に向けた提案」のとおり、実施する。
- 6) 組織の戦略的な方向に関する指摘
現状通り、環境方針、経営方針の方向に変更なし